



# ■ 事業計画 (短期計画)

※中長期計画は 2022 年以降に整備計画策定・実施予定

		便益施記	殳の整備		ガイダンス施設の暫定整備			
年度/工程	駐車場 用地取得	簡易駐車 場整備	現地案内 所設置	トイレ 改修	整備設計	整備工事	展示工事	完成公開
2018								
2019								
2020								
2021								

史跡二ツ森貝塚 整備基本構想及び整備基本計画 平成30年3月

編集・発行 七戸町教育委員会

青森県上北郡七戸町字七戸 31 番地2 TEL: 0176-58-5530(直)

# 史跡二ツ森貝塚 整備基本構想及び整備基本計画 概要版

# 史跡二ツ森貝塚の本質的価値

- ① 大規模貝塚としての価値 全国的にも有数の大規模貝塚である。出土する貝や動物遺体等から当時の 環境や生業の様子がわかる。
- ② 拠点集落としての価値 長期間にわたり定住し、貝塚や居住域、墓域、道が造られ集落が営まれた。 この集落の地形が現在も残っている。
- ③ 学史的価値 明治時代から注目されてきた遺跡であり、円筒土器文化に後続する土器の 指標遺跡として編年研究に貢献した。

# ■ 史跡二ツ森貝塚の概要

指定年月日:平成10年1月16日(追加指定:平成27年3月10日·平成27年10月7日)

種 別:史跡

名 称: 史跡二ツ森貝塚 所 在:七戸町字貝塚家ノ前

指定面積 : 117,910.10 ㎡

指定基準 : 史跡の部一 貝塚、集落跡、古墳その他この類の遺跡

管理団体 : 七戸町 指定文化財: 県重宝

(鯨骨製青竜刀形骨器、鹿角製尖頭器、鹿角製叉状品、猪牙製垂飾品、鹿角製櫛)

七戸町文化財 (二ツ森貝塚出土の考古学資料 45 点)





具塚見

貝塚貝層断面

フラスコ状土坑から出土した人骨



県重宝・鯨骨製青竜刀形骨器 外





フラスコ状土坑の埋葬犬

8

道路状遺構と土坑墓列

榎林式土器

■ 基本理念

- ・地域の人々とともに遺跡を将来にわたり保存する
- ・縄文時代の人々の暮らしに触れることができる整備・活用を目指す
- ・周辺環境を保全する
- 遺跡をまちづくり・人づくりに活かす

史跡二ツ森貝塚を将来にわたって守り伝え、長期間営まれた縄文 時代の人々の暮らしに触れることができ、当時の地形が残されてい るこの地をまちづくり・人づくりに活かしていくことを基本理念と します。

## ■ 基本方針

二ツ森貝塚は、縄文時代の古小川原湾に接した恵まれた環境にあり、前期中葉から中期後葉までの千数百年もの間営まれた貝塚を伴う大規模な集落遺跡です。貝塚と居住域などからなる当時の地形が良好に残り、また貝塚や竪穴住居跡、土坑などが数多く発見され、さらに遺物からは漁労・狩猟・採集を主体とする生業や、精神文化をうかがうことができます。本遺跡の整備と活用のテーマを「二ツ森貝塚の人々の暮らし」とし、基本理念の実現に向けて基本方針を定めます。

#### ① 史跡の整備

**〇保存**:遺跡の地下に存在する遺構・遺物を将来に向けて確実に保存することを前提とします。

**〇遺跡の表現**:遺跡の規模が最大となり主体となる縄文時代中期を整備の対象時期とします。大規模貝塚としての価値や拠点集落としての価値を表すものを中心にわかりやすい遺構表現を行います。

**○憩いの場**:遺跡と地域の人々の関係を将来にわたって維持しながら、地域の 人々をはじめ訪れる人々の憩いの場となるような親しみやすい整備とします。

## ② 展示・活動の拠点施設

二ツ森貝塚の価値を周知し、適切な情報提供を行うために、遺跡に近い場所 に展示・活動の拠点施設を設け、展示解説と情報発信を行います。また維持管 理や有効な活用を行うための活動拠点とします。

#### ③ 周辺環境の保全

遺跡周辺の樹林は、中長期的な取り組みにより林相改良をはかり、縄文時代の植生環境により近づけます。

#### ④ 活用·連携

**○活用・維持管理**:整備と活用のテーマである「二ツ森貝塚の人々の暮らし」 を体験できる活用を行います。また将来にわたって遺跡を維持管理し、充実し た活用を行うために、町民全体に活動の輪を広げた官民協働による活動の体制 をつくります。

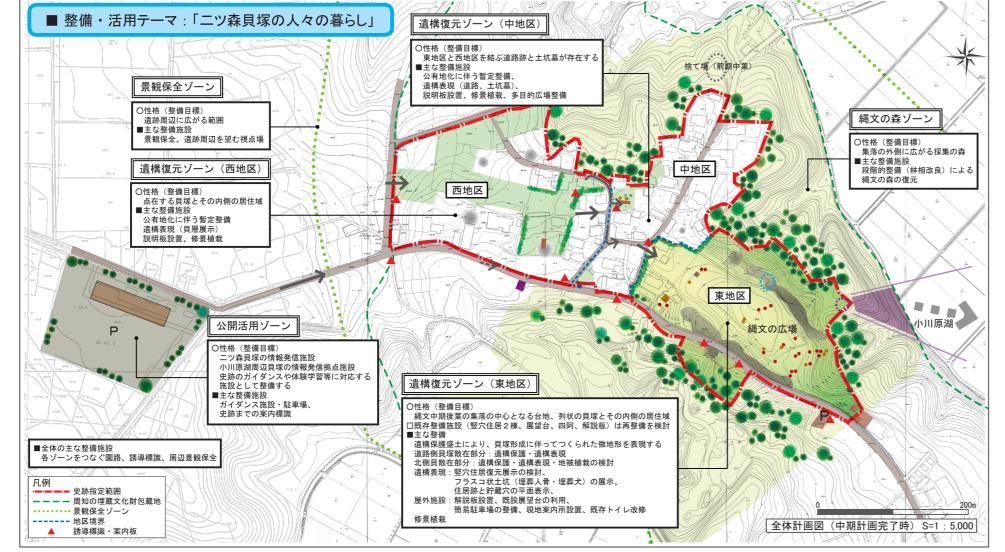
○各種の連携事業:小川原湖周辺の貝塚や縄文時代遺跡、また世界文化遺産登録を目指している「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産と調査研究や活用事業等で連携し、より広い活用を図ります。七戸町内にある国史跡七戸城跡や多くの文化財や文化関連施設、観光産業と連携し、活発な活用を図ります。

## ⑤ 調査研究

計画的な発掘調査等を実施し、遺跡の全体像の解明に努めます。また、調査成果の情報発信を行い、その成果を展示解説や整備に活かします。

## ⑥ 段階的な整備

整備対象範囲が広く、史跡の公有地化が長期間に及ぶことから、早期に実現する短期整備と、中長期的な取り組みとする整備を区分した事業計画とします。また活用については、できることから積極的に取り組みます。



# 整備基本計画

## ■ 整備全体計画・地区区分計画

整備計画は史跡の周辺地域も含んだ一連の環境を成す範囲を対象として、遺構復元ゾーン、縄文の森ゾーン、公開活用ゾーン、景観保全ゾーンに区分します。

- ① 遺構復元ゾーン:集落の中心となる台地部分で、大規模な貝塚や居住域が展開する地区です。現状の土地利用や公有地化、また発掘調査の状況から東地区と西地区、中地区に分けた計画とします。
- ○東地区:平成7~9年(史跡指定前)に整備され、既に公開されている範囲であることから、優先的に再整備を行い公開を目指します。二ツ森貝塚の特徴である、貝塚等の起伏のある地形を表現します。また、現状で貝層が一部露出する道路側斜面は保護と展示を兼ねた土留施設を設けます。貝塚の広がりを視覚的に表現し、人骨や埋葬犬を伴うフラスコ状土坑など特徴的な遺構の表現します。また、竪穴住居は復元展示を検討します。
- **〇西地区・中地区**:公有地化した部分の暫定整備により遺構を保護します。西地区は貝塚の貝層表示による遺構表現を行い、公有地化と確認調査の進捗を受けて、改めて整備計画を策定します。中地区は将来的に、道路状遺構と墓域の遺構表現を行います。
- ② 縄文の森ゾーン:集落の外側に広がる採集の場として、縄文時代の植生環境と景観に近づけ、また体験の場として活用します。現状で広葉樹林とスギ林が混在する民有地は、森林の所有者の理解と協力を得て、長期的に林相改良を図ります。
- ③ 公開活用ゾーン: 史跡内の整備では表現できないものを来訪者に伝えるためガイダンス施設を設置し、出土品や貝層の剥ぎ取り模型などにより展示の充実を図ります。また、史跡の導入部として大型駐車場や多目的利用を想定した広場を設けます。さらに、遺構復元ゾーンを俯瞰できる動線を確保します。
- ④ 景観保全ゾーン:遺跡と一体的な景観をなす範囲として住民の協力を得て景観保全に努めます。また、所有者の協力を得て高木伐採を検討し、遺跡周辺を望む視点場を設けます。

## 地区区分と整備概要

地区		性格	整備内容			
			地形造成• 遺構保護	「人間のと「他人の石物」ことで工る作物人口幼(心)のがありて		
東地区			遺構表現	する 貝塚の広がりを視覚的に表現する 貝層が一部露出する部分は、その保護と展示を兼ねた土留施		
				設を設ける 居住域の竪穴住居跡と貯蔵穴の分布を視覚的に表現する		
	审	集落の中心となる台地部分		竪穴住居の復元展示を検討する 人骨を伴うフラスコ状土坑の立体的な展示を行う ガイダンス施設で展示することも検討し、その場合は解説板を 設置する		
	地	大規模な貝塚や居住域が展開する地区		取 <u>し</u> りる 世葬犬の墓の立体的な展示を検討する ガイダンス施設で展示することも検討し、その場合は解説板を 設置する		
遺構				主要な遺構について原位置に解説板を設置する		
復			屋外施設	既設の展望台を利用する		
元     ゾ				簡易駐車場を設ける		
í				現地案内所を設ける		
シー				現状のトイレは洋式化する		
				既設の四阿は、将来的には撤去する		
				既設の駐車場は、将来的には撤去し、道路と土坑墓の表現を 検討する		
			修景·植栽	民有地との境界に修景植栽を施す		
	西地	貝塚が点在しその内側に居住	遺構保護	公有化した土地は、暫定整備として整地し、表土が薄い範囲は 保護盛土を施す		
	区	域がある地区	遺構表現	貝塚(西Ⅱ)の整備を行う		
			修景·植栽	民有地との境界に修景植栽を施す		
	中	* U.C. L. T. U.C. & A. W. W. C. L.	遺構保護	公有化した土地は、暫定整備として整地し、表土が薄い範囲は 保護盛土を施す		
地区	東地区と西地区を結ぶ道路状遺構や墓域が存在する地区	遺構表現	将来計画として、道路跡を伴う墓域の整備を行う			
	区	医博・医療が江江メの地区		貝塚バス停に隣接して多目的広場を設ける		
			民有地との境界に修景植栽を施す			
	の森 <del>-</del> ン	集落の外側に広がる採集の 森	所有者の協力を得て長期的に林相改良に取り組み、縄文時代の植生環境 と景観に近づける			
		二ツ森貝塚の情報発信施設と して史跡の展示解説や活用の 拠点、維持管理の拠点とする	既存施設を利用したガイダンス施設の整備、駐車場の整備を行う 遺跡までの案内標識を設置する。			
景観	保全	遺跡周辺に広がる範囲	遺跡と一体的な景観をなす範囲であり、景観保全に努める			
ゾーン		医型 石に石 できませ	所有者の協力を得て高木伐採を検討し、遺跡周辺を望む視点場を設ける			